

「市民健康づくり」

「歩け歩け運動」

小林光夫（拝三小地区・1期目）

11月3日、第121回市民健康づくり歩け歩け運動が行われました。当日は秋晴れの好天の下、79人の参加がありました。今回のコースは、JR南武線西府駅から、谷保天満宮、城山公園、立川文化館、昭島市総合スポーツセンターまでの11kmです。

西府駅に集合した後、6班に分けし、準備体操を行い秋の温かい日差しを浴びてスタートしました。駅南側から少し歩けば崖線に出ます。崖線下は、住宅地で市川緑道親水路があり、工場の横を走る日新通りには、整備された流れに小さな橋が多数架かっています。

最初の休憩地である谷保天満宮は、東日本最古の天満宮で、亀戸天神社・湯島天満宮と合わせて、関東三大天神と呼ばれ、学問の神様として有名です。当日は、七五三お宮詣りの家族を多く見ることができました。

谷保天満宮からしばらく行くと、散策路が続き、田んぼも残されている谷保の自然が残る風景でした。

次に向かったのは、くにたち郷土文化館です。緑豊かなハケの上に建ち、常設展示室では、郷土ハケが育んだ国立の通史、原子古代から近現代まで、実物資料や解説パネル、模型、映像、パズルなどを通じて、時代の流れに沿っての歴史を学べます。



郷土文化館を後にし、しばらく歩くと貝殻板橋、延長1.3kmの根川緑道立川公園の始まりで、

小川に沿った緑豊かな遊歩道、その周辺には、野球場、陸上競技場があり、緑道にはソメイヨシノの並木など風景も良く、桜の時期には素晴らしい花を咲かせます。柴崎体育館前のほとりで昼食タイム、みなさん、歩いた後でおいしそうに、おにぎりなどを食べていました。

昼食後は、根川緑道から残堀川沿いに歩き、スポーツセンターを目指しゴールしました。到着後に表彰式を行いました。今回参加者の最高齢者は86歳でした。

「2013青少年フェスティバル」

長田晴人（拝三小地区・2期目）

11月24日に開催された青少年フェスティバル、天候にも恵まれ、多くの市民が参加して大いに盛り上がりました。

私たちスポーツ推進委員は、今回も市民の方にスポーツを通じて元気になってもらおうと、インドアペタンクをはじめ、ストラックアウトやクッパなどのニュースポーツを楽しんでいただきました。



早朝から子どもたちや親子連れでにぎわい、当然子どもたちは大はしゃぎですが、普段運動不足のおとうさん、おかあさんもこの時ばかりはと元気一杯、心の底から楽しんでいました。

「今年も来たよ」、笑顔で私に声をかけてくれた少年。もちろん私も覚えていました。昨年同様、今年もおかあさんと一日中、フェスティバルを楽しんで行かれたようです。

昭島市民の健康増進、そのために切っても切り離せないスポーツの推進など、私たちスポーツ推進委員はこれからも努力を重ねていきたいと思えます。